

指定管理者評価シート

事業名	公園管理費	所管課(電話番号)	白石区土木部維持管理課(864-8125) 建設局みどりの推進部みどりの管理課 (211-2536)
-----	-------	-----------	--

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	①川下公園 ②北郷公園 ③豊平川緑地(下流地区)	所在地	①白石区川下2361-3外 ②白石区北郷8条9丁目 ③豊平川堤外地
告示年月日	①平成7年3月31日 ②昭和52年3月31日 ③昭和43年7月1日	面積	①194,560㎡ ②47,454㎡ ③644,000㎡
公園種別	①総合公園 ②地区公園 ③都市緑地		
目的	都市公園の健全な発達を図り、もつて公共の福祉の増進に資すること。		
事業概要	川下公園、北郷公園、豊平川緑地(下流地区)の維持管理及び運営(園内の維持管理、管理事務、園内の安全確保に関する業務、有料施設の運営等)		
主要施設	①リラックスペラザ、野球場、庭球場、パークゴルフ場 他 ②野球場、パークゴルフ場、テニスコート、ステージ 他 ③サッカー場、庭球場、野球場、パークゴルフ場 他		
2 指定管理者			
名称	公園緑化協会・川下公園コンソーシアム((公財)札幌市公園緑化協会(代表者)、横浜植木株北海道支店)		
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日		
募集方法	公募 非公募の場合、その理由:		
指定単位	施設数: 3 複数施設を一括指定の場合、その理由: 当該施設群は全て公園または緑地施設であり、ほぼ全ての保守管理、修繕業務について共通化することでスケールメリットを活かした経費節減が可能であり、一括管理による効率性が著しいため、一括指定としたもの。		
業務の範囲	公園施設維持管理業務、有料施設の管理運営、ライラック文化の普及啓発業務、公園ボランティアに関する市民活動支援業務、施設の使用承認に関する業務、公園の利用促進に関する事業実施		
3 評価単位	施設数: 3 複数施設を一括評価の場合、その理由: 管理施設は全て公園または緑地施設で、維持管理、施設内容に関しても類似性があり、また、有料スポーツ施設の利用受付についても、川下公園で一括して行っているため、各施設単位で評価したとしても差異が全く生じないことから、指定単位での一括評価としたもの。		

II 平成30年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価
1 業務の要求水準達成度			
(1) 統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>《理念》 私たちは、札幌市民との相互信頼を基に、みどりを通して心豊かな札幌の実現と次代への継承に貢献します。</p> <p>《運営方針》 理念の達成のため、5つの方針(公平、公開、効率、協働、環境)を柱に時代やニーズに即し、公園の価値を高め指定管理者として市民の満足度向上に努めます。</p> <p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>「公共施設としての公園・緑地に来られるお客様の第一の期待は、公園・緑地の平等・公平利用であると考え、お客様の期待以上の満足を持ち帰っていただくことを基本に、公園・緑地の平等利用確保の取り組みを行う」との方針を策定した。</p> <p>方針に沿って、「利用者の平等・公平な利用機会の確保にあたり、研修、指導、啓発等を徹底し、全スタッフの意識を高める」ことに取り組み、不法行為防止の啓発指導、ホームページ等による新鮮な情報提供、コンプライアンス研修等を行いスタッフの能力及び意識の啓発を図った結果、年間のアンケート調査では、接客満足度91%、総合満足度91%となった。</p> <p>▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進</p> <p>▼ 札幌市環境マネジメントシステムに則り、各種帳票を提出するとともに、公益財団法人札幌市公園緑化協会が運用する環境マネジメントシステムに則った管理運営を行った。</p> <p>▼ 事務用品の購入については、グリーン購入ガイドライン指定品の購入を従来から継続して行っている。</p> <p>▼ スタッフに対して年1回、4月に環境マネジメント研修を実施した。</p> <p>▼ 使用量の大きいリラックスプラザのボイラー用燃料については、平成22年度以降、A重油からエコ重油に転換しており、地球温暖化ガス(二酸化炭素)排出量の大幅削減につながっている。</p> <p>▼ 重油、灯油、軽油、ガソリンなどの化石燃料について節約に努めたものの、使用量としては前年値からの削減には至らなかった。</p> <p>▼ 家庭用廃食油の回収ボックスをリラックスプラザ玄関内風除室に常時設置し、家庭からの廃食油回収を常時行うほか、公園内で開催したイベント等において、家庭からの廃食油(500cc)を持参すると講座参加料を割引するサービスを実施した。</p> <p>▼ 車両を使用する際は、アイドリングストップを励行し、EMSの目的・目標を遵守し環境に配慮した管理運営に取り組んでいる。</p>	<p>公園管理運営を通じてライラック文化の発信を目指すとともに、三世代が利用する川下公園の特徴を踏まえ、5つの方針に則り管理運営に努めた結果、概ね理念・運営方針に沿った業務遂行ができたと考えられる。</p> <p>情報発信、研修、指導、啓発等を積極的に実施しており、アンケート調査の結果においては、接客満足度、総合満足度ともに札幌市要求水準に達することができ、良好な接客及び、公園管理ができたと考える。</p> <p>EMS(環境マネジメントシステム)の職員研修を年度初めに行い、全職員が環境に配慮した公園管理への意識を共有するとともに、ボイラー用Bio重油の使用、園内発生植物残渣のリサイクルや自主イベントでの環境教育の啓発、ゴミの減量化、電気使用量の節約に努め、EMSを適正運用して、環境に配慮した公園管理を行うことができた。引き続き、環境負荷低減に繋がる取り組みを実施したい。</p>	<p>A B C D</p> <p>管理計画を適切に策定し、この計画にもとづき適正な管理がなされた。</p>

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

- ▼ 統括責任者、統括責任者代理を配置した。
- ▼ 業務分担、指揮命令系統、連絡系統等を適切に定めた。
- ▼ 仕様書のとおり職員を配置した。また、31年度に向けた臨時職員欠員補充は31年2～3月に採用試験を行い、3名を採用した。
- ▼ 当初の研修計画に基づき、職員研修を実施した。
- ▼ 各所定機関に対して労働関係法令に則った申請・報告書を届け出るとともに、年1回職員の健康診断を行っている。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

スタッフの教育訓練、安全講習、苦情・要望等の対応結果を含めた情報共有、アンケート調査の実施及び分析を行い、利用者ニーズを把握した改善を行った。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

リラックスプラザ設備運転、プール監視、館内清掃、設備保守点検、水質・空気環境測定、レストラン営業、駐車場の開閉、機械警備、遊具定期点検、車椅子昇降機点検、高圧電気設備の保安業務、消防設備点検、自動ドア保守点検、屋外公衆トイレ清掃、塵芥処理については、指定管理者の直営作業では技術的・効率的な対応が困難であることから、事前に札幌市より承認をいただき専門業者に対する委託を行い、適正な業務遂行を実施した。また、新たに仕様に追加された、建築物点検、排煙設備等建築設備点検、建築構造等の点検を実施し、川下公園リラックスプラザの長寿命化計画を推進中である。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

▼ 運営協議会の開催状況は下表のとおり

開催回	協議・報告内容
3月14日	管理運営に関する経過報告及び利用者からの要望、施設修繕、次年度の計画等について札幌市と協議
<協議会メンバー> 白石区土木部維持管理課公園緑化係長、担当職員、事務係係長、担当職員 みどりの管理課維持管理係長、担当職員、公園管理係長、担当職員 公益財団法人札幌市公園緑化協会担当課長、所長、職員 横浜植木担当課長・担当職員	

実施状況の通り、計画に沿って、適切な研修、取り組み、対応を行うことができた。

実施状況の通り、計画に沿って、適切な研修、取り組み、対応を行うことができた。

実施状況の通り、計画に沿って適正に発注・履行を実施した。

実施状況の通り開催し、今後の課題の共通認識を図るとともに、次年度の管理運営スケジュールについて協議することができた。

▼ 川下公園利活用協議会の開催状況は下表のとおり

開催回	協議・報告内容
2月12日	30年度の事業報告、公園の利用に関する意見交換など
<協議会メンバー>	
北東白石連合町内会、・北東白石地区連合町内会、北東白石地区青少年育成委員会、川北小学校、東川下小学校、北都小学校、北都中学校、北海道立白石高校、北東白石児童会館、川北児童会館、北東白石まちづくりセンター、公益財団法人札幌市公園緑化協会川下公園管理事務所	

利活用協議会の実施により、周辺地域団体・市民の意見を伺うことができ、公園の管理運営に関する情報共有、連携強化に繋げることができた。

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

▼ 資金管理については、指定管理業務や自主事業等、公園ごとに区分しており、現金等の取扱いについては点検、調査を行っている。事務局経理事務担当者による現金出納簿の確認、月末締め現金出納簿と売上金口座入金状況の確認を随時行っている。

▼ 団体の規定に基づき、現金や金券類、預金通帳等の施錠管理や帳簿類の内部監査を年2回実施しているほか、公認会計士2名による外部監査を導入している。

▼ 現金等の取扱いに関しては、現金取扱規定を整備しており、管理体制の強化及び不祥事防止の取り組みを行っている。

札幌市の検査・監査には適切に対応した。また、改善が必要な事項等については、各公園・施設のマネージャーが集まる営業会議で都度確認し、公園・施設でも周知徹底を図った。不正行為や事故発生の未然防止のため、複数名による現金等の確認を徹底した。不正経理等の事故は発生していない。

▽ 要望・苦情対応

川下公園：施設管理の要望1件、苦情5件
北郷公園：施設管理の要望1件、苦情4件
豊平川緑地：施設管理の要望3件、苦情は無し

▼ 要望・苦情対応については、親切丁寧かつ迅速に対応し、経過・処置を含めスタッフ間、指定管理者代表本部、札幌市への情報共有を図った。

公園施設管理について、それぞれ適切に対応できた。特にペットのマナーに関しては、川下公園、北郷公園、豊平川緑地の全てで苦情、要望を受けており、今後もマナー啓発に努めたい。また、北郷公園ではバスケットコートに関する苦情が昨年から続いており、リングの一時撤去など、札幌市と協議の上、対応することができた。

	<p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <p>▼ アンケートは自主事業の参加者を対象としたものも含めて4回実施し、待遇項目及び公園の総合評価において目標を達成している。また、良い点・悪い点の指摘、意見を管理運営に反映させている。</p> <p>▼ 要望、意見については、リラックスプラザ内にアンケートボックスを設置し、管理運営に反映させた。</p> <p>▼ 月毎、四半期毎、年度での札幌市への報告は、マネージャーによるセルフモニタリングを記載して報告を行った。</p>	<p>職員の接客態度及び公園の総合評価では昨年を超える評価をいただいております。アンケートや要望、意見の反映を含めて、より良い管理運営ができました。</p>	
<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <p>▼ スタッフの雇用に関して、労働基準法、最低賃金法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法、健康保険法・厚生年金保険法、雇用保険法、労働契約法、男女雇用機会均等法、次世代育成支援対策推進法、女性活躍推進法、育児休業・介護休業等に関する法律、労働保険の保険料の徴収等に関する法律、その他関連する法令等に基づき、主として以下のような届出・対応等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全てのスタッフに対し、北海道最低賃金835円(平成30年10月1日発効、発行前までは810円)以上の時給を支給した。 ・施設で働く職員に対し、時間外労働・休日労働及び深夜残業をさせた場合、それぞれ法定割合以上の割増賃金を支払った。 ・就業規則・要綱の改正を行い、札幌中央労働基準監督署に適切に届け出ている。 ・全スタッフの就業時間や休日等について、労働基準法を遵守した。 ・スタッフに時間外労働又は休日労働をさせるにあたり、書面による労使協定(36協定)により必要な定めをし、札幌中央労働基準監督署に届け出た。 ・全てのスタッフを労災保険適用とし、条件を満たすスタッフを雇用保険に加入させた。 ・労働保険料等算定基礎賃金等の報告を北海道労働局へ提出し、労働保険料を納付した。 ・スタッフの勤務形態、家族状況等に応じて健康保険・年金保険資格を取得するよう、適切に届け出を行った。 ・年1回の定期健康診断及びストレスチェックを実施した。 ・短時間雇用管理者を選任し、北海道労働局へ届け出た。 ・有期雇用契約者のうち、無期転換申込権が発生した者に対して周知し、希望の申し込みを随時受け付けた。 ・次世代法及び女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を策定し、届出、公開、周知した。 	<p>指定管理施設の現場と本部事務局との連絡調整を密にするとともに、関係機関への必要な届出を迅速かつ確実に行うなど、労働関係法令を遵守し、すべての関係手続きについて適切に対応できた。</p> <p>当団体での労働災害発生ゼロを目指して、毎朝のKY活動、ヒヤリハット事例の共有、安全大会の開催、安全講習の実施等に取り組んだ。事故が発生した際には、安全衛生委員会において、原因検証と再発防止の検討を実施した。</p> <p>安全な職場環境の実現と、スタッフの雇用環境の向上を進めるなかで、市民サービスの向上につなげることができた。</p>	<p>A B C D</p> <p>管理計画を適切に策定し、この計画にもとづき適正な管理がなされた。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 安全衛生委員会を設置し、毎月1回、各公園・施設のマネージャーが出席して委員会を開催し、職場の安全確保及び健康障害の防止に係る議題について検討し、結果をスタッフに周知して、健全な職場環境の実現に努めた。 ▼ 維持管理作業従事者を対象に、作業における安全確保や機械の取扱いに関する講習を実施した。 ▼ ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、育児休業等の取得奨励、職場内コミュニケーションの活性化、有給休暇取得の奨励、ノー残業デーの設定などの取組みを行った。 ▼ 公的資格の取得支援、待遇や安全・技術等に関する内部研修の実施、優秀なスタッフや高年齢者の継続雇用など、雇用環境の整備により、市民サービスの向上等に結びつく取組みを行った。 ▼ 第三者への委託業務について、受託者に当該業務従事者の労働環境に関わる情報提供を求めた。 ▼ 女性活躍推進法に基づく認定制度「えるぼし」において、女性の活躍推進に関する状況等が優良な団体として「認定段階3」を受けた。 										
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 事故等の発生時に対応するため、緊急連絡体制の確保、消防訓練、災害時の訓練、プール・浴室での事故対応訓練、浴室等の汚物発生時の対応マニュアル化等を実施し利用者の安全確保に努めた。 ▼ 普通救命講習Ⅱ(AED操作含む)の受講を行っている。また、応急手当普及推進員養成講習を受講し、スタッフへの応急手当の指導を行えるようにし、安全指導體制の強化を図った。 ▼ 拾得物取り扱いについては遺失物法に沿ったマニュアルに則り処理・対応をすると共に道警会計課へ特例施設占有者の申請を行い、サービス向上に努めた。 ▼ 損害賠償責任保険は仕様に適合したものに加入した。 <p>また、保険加入の必要な自主事業実施時には、参加者から傷害保険料を支出して対応した。</p>	<p>実施状況の通り、計画に沿った業務・運営・研修・訓練を実施できた。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%; text-align: center;">A</th> <th style="width: 25%; text-align: center;">B</th> <th style="width: 25%; text-align: center;">C</th> <th style="width: 25%; text-align: center;">D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4" style="padding: 5px;"> 管理計画を適切に策定し、この計画にもとづき適正な管理がなされた。加えて、H30年度は、台風による倒木や北海道胆振東部地震による被害があったが、復旧に速やかに取り組み、円滑な施設運営を行った。 とくに川下公園ではプール・入浴施設の点検・修繕に速やかに取り組み、電力復旧後の円滑な施設運営を行った。 </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	管理計画を適切に策定し、この計画にもとづき適正な管理がなされた。加えて、H30年度は、台風による倒木や北海道胆振東部地震による被害があったが、復旧に速やかに取り組み、円滑な施設運営を行った。 とくに川下公園ではプール・入浴施設の点検・修繕に速やかに取り組み、電力復旧後の円滑な施設運営を行った。			
A	B	C	D								
管理計画を適切に策定し、この計画にもとづき適正な管理がなされた。加えて、H30年度は、台風による倒木や北海道胆振東部地震による被害があったが、復旧に速やかに取り組み、円滑な施設運営を行った。 とくに川下公園ではプール・入浴施設の点検・修繕に速やかに取り組み、電力復旧後の円滑な施設運営を行った。											

	<p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <p>▼ 公園・緑地の維持管理については、ほぼ計画通りに実施し、仕様書の水準を達成した。また、枯損木の多かったバラ花壇については前年に引き続き苗木を植栽し、ライラック開花後の花修景の向上に努めている。</p> <p>▼ 台風21号後は、川下公園内で300本以上の倒木があり、一時、園内立ち入り禁止し、利用者の安全を確保するとともに、迅速に災害復旧に努めたことで、怪我人もなく早急に危険木を処理できた。</p> <p>▼ 北海道胆振東部地震時は、長期に渡り停電となったが、園内・館内を隔々まで点検整備し電力復旧後迅速にリラックスプラザの営業を開始したが、電力供給が安定するまでの間は、プールの営業を休止・時間短縮営業とした。</p> <p>▼ リラックスプラザ及び屋外施設の設備保守点検を計画通り実施し、給湯加温温調器・熱源循環ポンプ・雨水ポンプ用レベルレギュレーター等の不調・故障等の緊急時にも迅速に応急処置を行い、営業に支障なく対応した。また、金額が20万円を超える修繕については、事前に札幌市と協議し、承認を得て実施した。</p> <p>▼ 主な修繕として、給湯加温温調器修繕・熱源循環ポンプ修繕・雨水ポンプ用レベルレギュレーター修繕・濾過循環設備配管修繕・男子低温湯塩素滅菌ポンプ修繕・汚水処理室雑排水ポンプ修繕等を実施し、利用者に支障が無いよう対応した。</p> <p>▼ ライラックまつりin川下公園の開催時には、駐車場の混雑が予測されたため、公園外民地を特別臨時駐車場として借用するとともに、警備員を配置して安全に配慮して対応した。</p> <p>▼ 1週間ほどの年次整備期間中では、機器・設備・配管等の年次点検、メンテナンス業務のほかに、浴室目地補修、塩素注入口(サイホンチャッキ)修繕を行い、利用者の安全と快適利用に努めた。</p> <p>▼ ライラック管理において、近年強剪定を行っていたため、軽めの剪定により樹形を整えた。また、地際が腐朽しているライラックも多く、グリーンシーズン途中で枯死する物もあったが、苗圃で育成しているライラックを捕植し景観作りに努めた。</p>	<p>公園・緑地の維持管理については状況に応じ、適切な管理ができた。</p> <p>特に、台風21号による風倒木の処理や、北海道胆振東部地震後の停電時及び復電後の対応については、迅速かつ適切にできた。</p> <p>また、設備系のトラブルに関しては、迅速かつ適切に対処したことにより、営業に支障を来すことなくできたところであるが、耐用年数が迫っている設備が多くなってきているため、長寿命化を含め更新・改修を計画的に進め、営業への障害や利用者の安全に支障がないように努めたい。</p>	
(4)事業の計画・実施業務	<p>▽ 防災</p> <p>▼ 消防訓練等の防災計画を策定するとともに、7月と11月に消防訓練、7月にプール救難訓練・浴室救難訓練を実施したほか、専門点検時に不具合が発見された場合は、迅速に修繕を行った。</p> <p>▽ 受付・接客業務のレベルアップ</p> <p>▼ スタッフへの苦情・要望等の情報共有のほか、准サービス介助士を受付スタッフ2名が受験し、接客対応の向上を図った。また、利用者アンケート調査による接客満足度は91%であり、昨年以上の評価で札幌市要求水準を満たすことができた。</p> <p>▽ 協働・協力団体との連携</p> <p>▼ 白石区内公共施設ネットワーク協議会、NPO法人GIH、パークスネット、社団法人札幌市観光協会、川下公園ボランティアの会「りらら」と連携するほか、ライラックの魅力発信の強化を図るべく実施した「リラコレ2018」において、近隣の学校・幼稚園や市民団体と協力しながら内容拡充に努め、相互に活動の充実化を図った。</p>	<p>防災訓練は計画通り実施し、スタッフのスキルアップを図ることができた。</p> <p>障がい者対応の機会が多い川下公園では、受付スタッフ2名に准サービス介助士を受検させ、接客スキルの向上を図ったほか、他公園での苦情を周知し、接客・応対でのトラブルが無いように教育を図っている。</p>	<p>A B C D</p> <p>管理計画を適切に策定し、この計画にもとづき市民と連携しながら適正な管理がなされた。</p>

<p>▼ ボランティア活動 ・川下公園ボランティア「りらら」 登録者数:2人 延べ活動人数:2人</p> <p>▽ 市民の自主活動及び交流の支援業務</p> <p>▼ 白石消防署北東白石地区消防団による消防訓練への協力や、ALL白石おやじの会による「しろフェス」への協力、北東白石地区青少年育成委員会による「雪あそびフェスティバル」においてテントの貸し出し、雪山作り、雪上ラフティングボートの実施など、地域活動への支援を積極的に行った。</p> <p>▽ 近隣小中学校に関する学習機会の提供業務</p> <p>▼ 白石区ふるさと会による学生の職業体験「白石でっち奉公」を受け入れ、地域との連携を図る事ができた。 ・白石区ふるさと会「白石でっち奉公」中学生受入 延べ活動日数:5日 延べ活動人数:22人</p> <p>▼ 近隣の川北小学校から総合学習協力を依頼があり、川下公園職員から園内の動植物を通じ環境教育に関わる授業を行った。</p> <p>▽ さっぽろライラックまつりの開催</p> <p>▼ 今年度は近隣小学校の運動会を避け、6月2日・3日に開催した。また、ライラックの魅力発信の強化を図ることを目的として花の見頃期間をPRするため「リラコレ(ライラックコレクション)」と題して5月26日～6月10日まで、地域の学校・幼稚園、市民活動団体等と連携し、イベント内容の充実化と認知度の向上を図った。 ライラックまつり当日は好天に恵まれ、昨年度を上回る参加実績となった。また、音楽コンサート「リラライブ！」において、地域の吹奏楽や音楽バンドのほか、プロアーティストを呼ぶことにより、話題性を集めるイベントとなるような試みを行った。 ・さっぽろライラックまつり参加実績:約11,600人</p> <p>▽ ライラックツアーの開催</p> <p>▼ ライラックの開花期間中、ライラックの歴史・育て方を紹介するライラックツアーを開催。参加者192人であった。</p> <p>▽ ライラックに関する相談業務</p> <p>▼ ライラックまつり大通会場及び川下会場にて、ライラックの相談会を実施したほか、電話等での相談にも対応した。</p>	<p>今年度は市民ボランティアの登録者数の減少と、活動日に雨天が多くなってしまいうことが多く、例年と比べ活動が少なくなりました。参加者の獲得に苦慮しており、次年度以降はやりがいのある活動の充実と積極的な広報活動を行いたい。</p> <p>白石でっち奉公の受入により、毎年20人以上の学生に公園の存在意義と実務を学ぶ機会を設ける事ができ、地域との効果的な連携を図る事ができた。</p> <p>ライラックまつりにおいて、昨年に引き続き学校法人札幌ベルエポック美容専門学校と連携協力することにより、魅力的な企画を行う事ができた。また、自主事業として新たに複数のワークショップを実施し、イベント内容の充実を図った。</p>
--	---

	<p>▽水中健康教室の開催</p> <p>▼ H30年度は65回の開講、参加者1,195人であった。</p> <p>▽PG大会の開催</p> <p>▼ H30年度は6月15日に「ふれあいドキドキパークゴルフ大会」、10月3日に「川下公園パークゴルフ秋季大会」を開催した。また、大会開催において企業協賛も実施した。</p> <p>・ふれあいドキドキパークゴルフ大会参加者数:32名 川下公園パークゴルフ秋季大会参加者数:32名</p> <p>▽ネイチャークラフト講座の開催</p> <p>▼ 12月16日にクリスマスをテーマとしたリース作り、2月17日にひな祭をテーマとした雛人形作りを実施し、自然の材料を使ったクラフト講座として好評だった。</p> <p>・参加者数計:54名</p> <p>▽ノルディックウォーク体験会の開催</p> <p>▼ 市民の健康増進を目的として、推進団体と連携しながら実施した。</p> <p>・参加者数計:5名</p> <p>▽サンデーラフティングボートの開催</p> <p>▼ 冬のアクティビティ充実と利用者ニーズに応える為、サンデーラフティングボートを1月の毎日曜日に開催し、計35名の参加があった。</p> <p>▽ウィンターフェスティバルの開催</p> <p>▼ 冬季のイベントとしてウィンターフェスティバルを開催。</p> <p>例年人気のあるスノーラフティング体験やバスボム作り等を行い、多くの参加者が集まった。</p> <p>・ウィンターフェスティバル参加実績:2,700人</p>	<p>計画した自主事業の結果は実施状況のとおり、多くの参加者に満足していただけた。しかし、水中健康教室やパークゴルフ大会は震災の影響により休止や延期せざるを得ない等の要因により、例年に比べ参加者数は減少してしまった。ウィンターフェスティバルでは、新たにスノードーム作りを行いクラフト講座の充実を図ったほか、スノーラフティングの好評により、昨年度以上の参加者が集まった。</p> <p>今後も地域一体となった公園の活性化に努めたい。</p>
--	---	---

(5)施設利用に関する業務

▽ 利用件数等

		H29実績	H30計画	H30実績
浴室・プール (川下)	件数(件)	35286	-	37887
	人数(人)	35286	-	37887
	稼働率(%)	-	-	-
野球場 (川下)	件数(件)	307	-	301
	人数(人)	12873	-	11426
	稼働率(%)	32%	-	31.0%
庭球場 (川下)	件数(件)	1518	-	1337
	人数(人)	11461	-	10494
	稼働率(%)	35%	-	31.2%
パークゴルフ場 (川下)	件数(件)	11491	-	9669
	人数(人)	11491	-	9669
	稼働率(%)	-	-	-
サッカー場 (米里)	件数(件)	598	-	588
	人数(人)	25673	-	24370
	稼働率(%)	20%	-	19.0%
野球場 (北郷)	件数(件)	255	-	248
	人数(人)	6309	-	6814
	稼働率(%)	22%	-	22.3%

公園利用届	H29実績	H30計画	H30実績
イベント	9	-	12
学校行事	45	-	45
その他	287	-	327
パークゴルフ	33	-	23
プール・浴室	28	-	33

▽ 不承認、取消し、減免、還付

- ▼不承認 0件
- ▼取消し 0件
- ▼減免 41件
 - 川下公園テニスコート 26件
 - 川下公園野球場 8件
 - 豊平川緑地サッカー場 5件
 - 北郷公園野球場 2件
- ▼還付 132件
 - 川下公園テニスコート 39件
 - 川下公園野球場 33件
 - 豊平川緑地サッカー場 32件
 - 北郷公園野球場 28件

今年度は大型台風と北海道胆振東部地震の影響が大きく、各屋外施設の利用者人数が減少した。しかし、札幌市内各プール施設において、複数のプールで大型改修工事を実施、また、地震の影響で休館していた施設もあったため、プール・浴室利用者数は増加し、前年比107%となった。

有料スポーツ施設で、川下公園テニスコート及び米里サッカー場について、川下公園テニスコートでは不陸、排水不良、米里サッカー場ではグラウンド面の硬化、排水不良、土埃飛散等、施設が著しく老朽化しており、大規模な改修が必要と判断している。

また、浴室・プールエリアに、体が不自由な方々が利用する専用トイレ及びシャワー設備が無い。そのため、トイレについては簡易トイレを用意し、また、シャワールームに車いす用すのこを制作設置するなど、段差解消を行って対応しているが、完全なバリアフリー化を図るためには、このエリアのトイレ及びシャワー室の改修が必要と判断している。

今後とも現場で対応措置が可能な簡易的な施設の補修・整備を行いながら、HP等の広報媒体を効果的に活用し、利用者増加を図っていきたい。

A	B	C	D
	B		

台風・地震等の影響がある中、円滑な施設運営に努めた。

	<p>▽ 利用促進の取組</p> <p>【プール・浴室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祝日割引及び家族割引の導入 子どもの日(5月5日)は子ども料金(中学生以下)を無料 敬老の日(9月第3月曜日)は高齢者料金(65歳以上)を無料 ・JTBベネフィットえらべる倶楽部加入者割引施設として登録 ・川下公園共通「Kポイントカード」の導入 ・浴室、プールレンタル品の貸出(水泳帽、ビート板等) ・プールでの自主事業健康教室の開催 <p>【パークゴルフ場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新料金プラン導入(チャレンジ券、川下1日券、75ハツラツタイム) ・パークゴルフ・浴室共通券の導入 ・祝日割引及び家族割引導入 子どもの日(5月5日)は子ども料金(中学生以下)を無料 ・敬老の日(9月第3月曜日)は高齢者料金(65歳以上)を無料 ・体育の日(10月第2月曜日)利用料金を無料 ・利用者還元策(スタンプカード) ・川下公園共通「Kポイントカード」の導入 ・クラブ・ボールの洗い場を設置 ・レンタルクラブ貸出 <p>【川下公園・北郷公園野球場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・固定ベースを設置 ・グラウンド整備道具増設 <p>【川下公園テニスコート・野球場、北郷公園野球場、米里サッカー場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育の日(10月第2月曜日)利用料金を無料 ・レンタルテニスラケット貸出 										
(6)付随業務	<p>▽ 広報業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ ホームページ閲覧数 <ul style="list-style-type: none"> ①川下公園 125,474件(昨年度比 109.5%) ②北郷公園 6,486件(昨年度比 115.3%) ③豊平川緑地 8,304件(昨年度比 100.2%) ▼ 自主事業の広報チラシ・ポスターを作成した際は、連携する公共施設窓口、町内会、近隣学校関係、観光案内所等に配布するとともに、マスメディアへの投げ込みも行った。 ▼ 自主事業広報に関しては、広報さっぽろの掲載依頼や広報課への投げ込みのほか、新聞やイベント情報誌への掲載依頼を行った。 ▼ さっぽろライラックまつりの広報は、札幌市観光企画課、一般社団法人札幌観光協会と連携し大通会場と連携した広報活動を行ったほか、近隣地区へのチラシ新聞折込を行い、35,000部を配布した。 ▼ 公園ホームページについてのウェブアクセシビリティ取組確認・評価表を、平成31年3月15日に公開した。 <p>▽ 引継ぎ業務</p> <p>前回から継続指定を受けており、引継ぎ業務はない。</p>	<p>広報業務は、広報さっぽろをはじめ、チラシ、ポスター、ホームページ、マスメディアなどの媒体を活用したほか、ライラックまつりでは新聞折込を行った。ホームページでは川下公園、北郷公園、豊平川緑地のホームページ閲覧数が増加し、インターネットによる情報発信を効果的に行うことができた。今後もこまめに情報発信することで閲覧数増加につなげていきたい。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4">管理計画を適切に策定し、この計画にもとづき適正な取り組みがなされた。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	管理計画を適切に策定し、この計画にもとづき適正な取り組みがなされた。			
A	B	C	D								
管理計画を適切に策定し、この計画にもとづき適正な取り組みがなされた。											

2 自主事業その他

▽ 自主事業		A	B	C	D
<ul style="list-style-type: none"> ▼ レストラン(リラパーク、臨時売店)、自販機手数料事業 売上高3,481千円(計画3,016千円) ▼ イベント事業 売上高563千円(計画698千円) ▼ 売店事業(リラックスプラザ受付、プール・浴室受付、パークゴルフ受付) 売上高1,581千円(計画1,737千円) ▼ 施設事業収入(水中健康教室) 売上高598千円(計画403千円) ▼ その他収入(広告収入・振替収入) 売上高1,956千円(計画0円) 		<p>イベント事業収入と売店事業収入は目標額に到達できなかったが、その他の事業収入は目標額を達成することができた。</p> <p>次年度、市民の健康増進及び施設有効活用を目的に新規健康教室開催を予定しており、施設事業収入増額に繋げたい。</p>			
<p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ リラックスプラザの設備運転、プール監視、館内清掃、設備保守点検、水質・空気環境測定、レストラン営業、駐車場の開閉、機械警備、遊具定期点検、車椅子昇降機点検、高圧電気設備の保安業務、消防設備点検、自動ドア保守点検、屋外公衆トイレ清掃、塵芥処理についての第三者委託は市内企業に発注した。 ▼ 浴室・プール用の水中車椅子3台を常備している。 ▼ 障がい者用駐車スペースを確保した。 ▼ 冬期間駐車場での転倒防止のため、砂・凍結防止剤の散布を行った。 ▼ リラックスプラザに設置している車椅子昇降機は専門業者と保守点検契約を結び、故障には迅速に対応している。 ▼ 公園・緑地のバリアフリー情報をホームページで公開した。 ▼ ライラックまつりin川下公園でクイズラリーの景品として提供したポストカードの印刷を、障がい者支援団体に発注した。 		<p>実施状況の通り、計画通り業務を実施できた。</p> <p>また、「ライラックまつり」開催時のクイズラリーの景品として、障がい者支援団体が印刷したポストカードを提供し、福祉施設への配慮を心がけた。</p>			

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果		A	B	C	D
実施方法	6月2日から2月17日の間に川下公園で開催したイベント参加者及び、公園利用者に対してアンケートを実施し、347人から回答を得た。	<p>対面式アンケート調査を実施し、総合満足度・接客満足度ともに、要求水準を達成することができた。特に総合満足度は要求水準を20ポイント以上上回ることができた。</p> <p>公園内の管理に称賛の声をいただき、総合満足度に繋がったと評価する。</p> <p>また、運営についてや利用に関する要望に関しては、次年度以降の課題とし、要望に応えられるよう計画していきたい。</p>			
結果概要	・総合的な満足度は、要求水準70%に対し91%となり、20ポイント以上上回る結果となった。管理に関する称賛のご意見もいただいている。 ・接遇に関する満足度は要求水準80%に対し91%となり、大幅に上回った。「あまり良くなかった」、「悪かった」の回答はなかった。				
利用者からの意見・要望とその対応	<p>【意見・要望】 ライラックの森で自転車に乗るのはどうなのか。</p> <p>【対応】 次年度のライラック開花期間では、自転車は押して通行するよう看板等で周知することで対応したい。</p> <p>【意見・要望】 水遊び出来る期間が短い。</p> <p>【対応】 期間中の気温や気候の推移によってはカナルの運転期間を延長する等の対応を行っており、次年度も継続したい。</p>				

4 収支状況

▽ 収支 (千円)

項目	H30計画	H30決算	差
収入	178,606	183,204	4,598
指定管理業務収入	172,646	175,005	2,359
指定管理費	154,672	157,788	3,116
利用料金	17,974	17,217	▲ 757
その他	0	0	0
自主事業収入	5,960	8,199	2,239
支出	178,606	179,729	1,123
指定管理業務支出	176,965	174,511	▲ 2,454
自主事業支出	1,641	5,218	3,577
収入-支出	0	3,475	3,475
利益還元	0	0	0
法人税等	0	385	385
純利益	0	3,090	3,090

▽ 説明

▼ 収入について、利用料金収入は前年度比1.2%増となったが、北海道胆振東部地震の影響もあり、施設の減収が響き、計画数値には届かなかった。一方、自主事業収入について、飲料水等自動販売機設置業者をプロポーザル選定した結果、委託手数料収入が増え、計画より37.5%増となった。

▼ 支出については、リラックスプラザのボイラー燃料にBDF重油を使用して環境への負荷を抑えながら支出抑制に努め、また空調管理や節水により、燃料使用量と水道使用量を抑えることができたが、節電要請のため停止していた噴水を稼働させたことによる電気の基本料金の上昇により支出が増加した。

また、施設の老朽化による修繕費も増加傾向にあるため、札幌市と協議しながらライフサイクルコストの縮減に向けて計画的に補修・修繕に取り組みたい。

▼ 利益還元はなかった。

プール・浴室の営業においては札幌市内における他のプールが改修していたことや、北海道胆振東部地震の影響もあり、浴室の需要があったことで前年度比107.6%となった。しかし、他のスポーツ施設は、地震や台風21号の影響により大きく減収した。災害による減収はやむを得ないものの、浴室の需要は災害時にあるため、災害があっても営業ができるように日々の施設点検を実施したい。支出については、前年度から積極的に取り組んでいる、プール・浴室の節水の効果もあり、猛暑で多くの水を使用した。例年並みの使用量に抑えることができた。また、燃料費の高騰により予算編成に苦慮している。ボイラー施設も更新時期が迫っているため、省エネ仕様のボイラーに変更するなど、支出を抑える取組を計画したい。

A B C D

管理計画を適切に策定し、ほぼ計画どおりの運営を行った。

<確認項目> ※評価項目ではありません。

<p>▽ 安定経営能力の維持</p> <p>▼当コンソーシアムの代表団体である札幌市公園緑化協会の財務状況等は、平成30年度、赤字決算になる見込みはなく、運営安定化積立資産の留保金もあるため、安定経営能力に問題はない。また、他の構成企業についても、前年度から大きな変化はなく、安定経営能力に問題はない。</p>		適	不適
<p>▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応</p> <p>▼各条例の規定に則り、全て適切に対応した。 ▼情報公開請求はなかった。 ▼当公園の管理等に係るオンブズマンの実地調査はなかった。 ▼公園使用者に対する告知として、暴力団活動や暴力団の資金源となる活動に公園を使用できない旨の文書を園内に掲示した。 ▼物品購入や業務の委託等に際して、暴力団員や暴力団関係事業者を相手方としないよう徹底した。</p>		適	不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>[川下公園・北郷公園・豊平川緑地(下流地区)] 川下公園・北郷公園・豊平川緑地(下流地区)の管理運営に関しては、利用者の要望に柔軟に対応し、市民サービスの向上を図り良好に管理できた。 災害時は、近隣住宅地において断水などが発生し、公園内の水道や浴室などを利用される被災者も多く、災害時における公園のあり方を再認識できる一年となった。また、利用料金収入は災害の影響もあり多くの施設が目標を下回ったが、プール・浴室の営業は良好であり、今後も安定した市民サービスを提供したい。</p> <p>▼川下公園 ▽緑地管理においては、近年ライラックを計画的に強剪定を行っているため、軽剪定で整枝した。また、3~4年越しに育てているひこばえが良好に成長している。あと1,2年で枝の更新もできる状態になり、順調に成長している株も増やすことができた。 台風21号が通過後、園内で300本以上の倒木があったが、公園を一時閉鎖し、市民の安全確保をするとともに、迅速に危険木を処理したことにより、早急に開園することができた。 施設管理においては、大型複合遊具が更新され、連日多くの利用者で賑わいを見せた。新しい遊具においても定期点検を実施し、初期トラブルの有無を確認したことで遊具における事故は無かった。胆振東部地震後は公園内を隅々まで点検したところ、雨水排水槽に繋がる暗渠管の断裂やプールジャグジー槽の配管クラックなどを発見することができた。幸い、早期に発見できたため、他の施設に影響を及ぼすことなく管理できた。 自主事業においてはKポイントカードを導入し、浴室・プール・館内レストランを利用された方にポイントカードを配布するほか、パークゴルフ場において1日券などの券種を増やすなど、施設の利用促進を図る取組みや満足度を向上させる取組みを積極的に行った。</p>	<p>▼川下公園 ▽台風21号後に園内の倒木を芝生の臨時駐車場に仮置きしていたが、1ヶ月以上保管していたため、芝生が裸地化している。裸地化している面積が広いいため、播種で芝生を育成したい。 駐車場のラインが老朽化や除雪作業によって消えかかっているため、ラインを修繕し利用しやすいように整備する予定である。 また、来年度、木製窓枠サッシ修繕や園路灯の改修など大型修繕が行われる予定であるため、関連企業や札幌市と綿密に打ち合わせし、可能な限り利用者に不便をかけないように運営したい。 ▽白石区ふるさとまつり実行委員会主催の白石区ふるさとまつりは、来年度3回目の開催が予定されている。延べ参加者数が3万人規模のまつりであるため、雨天時や警報発令時などの緊急時に会場が混乱しないように主催者と計画し、まつりを円滑に進行させたい。 ▽自主事業においては、平日の午前中や夜間は利用者が少ない状況であるため、施設の利活用や健康増進のための体操教室等を企画している。利用者サービスに繋がる事業を展開したい。</p>

▼北郷公園

▽緑地管理及び施設管理において、概ね計画通り良好に管理することができた。特に夏期に利用の多い噴水は、巡視点検時に危険物の有無や水質のチェックを行い、事故なく終えることができた。

台風21号通過後、園内で倒木や高所での枝折れがあったが、迅速に立ち入り禁止処置を行い、危険木処理したところ、二次災害を防ぎ、早急に利用者が公園を使用できるように努めることができた。

また、災害後には、公園内に設置されているマンホールトイレの設置方法を再確認するなど、災害時に公園施設を活用できるようにスタッフの教育を行った。

夏期には近隣住民から早朝・深夜にバスケットボールで遊ぶ利用者の音で迷惑していると苦情があった。例年、夜間巡視や看板の設置等で利用の注意を行ってきたが、応急的な処置としてバスケットゴールのリングを撤去する処置をした。あくまでも応急的な処置であることから、夏休み時に開催される早朝のラジオ体操時などに子どもたちに説明し、市民の理解を得る対策を行った。今後の対策については、札幌市と慎重に進めたい。

▼豊平川緑地(下流地区)

▽今年度は夏期に雨天の日が少なく、一時芝草が黄化することがあったが、雨天後に回復している。大型台風後に倒木があったが、迅速に処理したことで怪我人無く管理できた。

緑地内の生垣刈込時は、スズメバチの有無をしっかりと確認し作業したことで、作業員を含め近くの一般利用者にも危害を及ぶことなく作業できた。

大雨後は豊平川から排水管を逆流した川の水がサッカー場に流れ込む被害があったが、幸い泥の堆積が少量であったため、グラウンド整備を行い利用者に影響なく管理することができた。

また、災害後に家電製品や食器などの不法投棄が目立ったが、適切に処理できた。不法行為は夜間などに行われることが多く、発見が難しいが、早朝に巡視点検を実施することで、早期発見し迅速に対応したい。

▼北郷公園

▽北郷公園は冬期間風が強いことから枯れ枝等の発生が多く、グリーンシーズン開始時に多くの枯れ枝があるため適切に処理し、落ち枝等による事故防止に努めたい。

また、近年ゴミの投棄や犬の糞の放置など、公園利用のマナーが低下しているため、看板や巡回を強化してマナー向上を図りたい。

▼豊平川緑地(下流地区)

▽緑地管理においては、例年良好に管理できているが、刈り込んだ樹木の多い緑地では、スズメバチの巣が多いため、巡視点検や緑地管理時においては営巣状況も点検し、作業員を含めて緑地利用者の安全管理を強化したい。

近年取り組んでいる堤防上の路上駐車対応として、駐車禁止のローピングや看板を設置したところ、マナー違反の駐車は激減している。来年度も引き続き実施し、マナー啓発に取り組みたい。

【所管局の評価】

総合評価	改善指導・指示事項
平成30年度は台風や地震により、管理業務に大きな支障があったものの、利用者への影響を極力避けるための速やかな復旧作業を行うなど、積極的な維持管理が行われたものと評価します。	施設の老朽化が進んでいるが、維持管理や、補修・整備について札幌市と連携しながら、市民利用への影響を極力小さくするよう努めること。